

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和五年 九月一日 発行

文責：大西
編集：白川

「琴弾公園ヒストリー」④

《宮脇仲次郎》その1

琴弾山には昔から高灯籠がありました。明治34年（一九〇一年）に出版された「錦絵讃岐名所」（全12枚）のうち、琴弾公園を描いた作品を

注意深く見ると、遠方に高灯籠が描かれています。この「錦絵讃岐名所」の作者が宮脇仲次郎です。錦絵とは多色で刷られた木版画のことで江戸時代に流行した浮世絵の技法の一つ



と言われます。庶民が今ほど自由に旅行に行くことが許されていない時代、旅の先々の様子を描いた名所絵に人気が高まりました。名所絵は美人画、役者絵と並ぶ錦絵の人気ジャンルでした。宮脇仲次郎が描いた12枚の絵は『名だたる寺社仏閣や観光名所（琴弾公園、金刀比羅宮、栗林公園、滝宮天満宮、屋島、塩江温泉、善通寺、津田松原、寒霞溪など）と、「香川県庁」に加えて、「丸亀兵営」「航海学校」といった軍関係の建物が絵の題材になっており「富国強兵」という時代背景をうっすらと見えてきます。（つづく）

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は **9月4日** です。

午前八時～九時（雨天：9月11日）

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080-3211-1962

【琴弾公園クイズ 53】

琴弾八幡宮の石段を上っていくと左手に天神様のお社（やしろ）があります。このお社の呼び名は？

- ① いやさか天神
- ② みまさか天神
- ③ みやさか天神

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



寛談 永

二〇二五大阪・関西万博の開催については、いろいろな課題が話題になっていますが、前回の万博に思い出がある方は多いと思います。あれは何年前だったのかなあ：と考えた時に、あの三波春夫氏の名曲「こんにちば」が頭に流れて「一九七〇年のこんにちは」が頭に流れて「一九七〇年のこんにちは」という歌詞で、もう五十三年も経っているのだとわかりました。歌の力は侮れなくて「フランシーヌの場合」というひと昔前の反戦歌にある「三月三〇日の日曜日パリの朝に」という歌詞のおかげで、会ったこともないフランシーヌさんの命日を覚えていたり（家族の誕生日は覚えられないのに！）そういうえば地理のテストで漁港の名前が思い浮かばないときに森進一氏の「港町ブルース」を頭の中で再生して乗り切ったこともありました。歌は自分をその時代にフツと引き戻してくれるすてきな宝物です。（M）



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的としている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようとして頑張っています。